

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立鷲宮西中学校

【取組内容①】 Googleチャット・Google Jamboardを用いた他者参照、複線型授業

■ 1年数学「比例・反比例」

- ①全体で確認(表にする方法、式にする方法)※ここは全体共有
- ②グラフの形はどうか思考する ※他者参照。自由進度学習を行う。

◎グラフの形を思考する上で、ツールを用いて思考し、他者と比較しながら自分の知識へと変換していく。

■ 適応問題にチャレンジ。難易度はそれぞれで設定。(Jamboard)

◎学び方は生徒が選択する。それぞれに合ったスタイルで、個別最適な学びを促す。

■ 考えられる成果

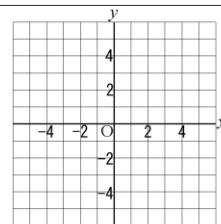
- ①他者参照を通し、知識を自分のものとして獲得できる。
- ②データの整理をする作業効率の向上
(得た数値をグラフ化する時間を確保でき、思考し考えを深めることができる。)

4章 変化と対応 part12 ■反比例のグラフ (P.132~136)

学習課題(ねらい): 反比例のグラフの形を考えてみよう

考えよう

みなさんはスキー教室へ行きます。
男子10人を部屋割りする場合、
部屋の数を x 部屋、人数を y 人
として、どう分けるとよいですか?
表を作ってグラフに表してみま
しょう。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立鷲宮西中学校

【取組内容①】 Googleチャット・Jamboardを用いた他者参照、複線型授業

■ 3年数学「相似の証明」

- ① 相似な図形の発見 ※ここは全体共有
- ② 何を根拠に、結論を明らかにしていくか
※チャットにて他者参照。自由進捗学習を行う。

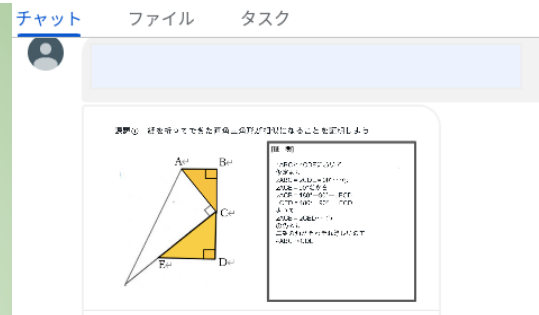
◎説明は短く、思考する時間を多く確保し、生徒たちに個別や他者と協働して解決するのか、必要に応じ選択できるようにする

■ 適応問題にチャレンジ。難易度はそれぞれで設定。(Jamboard)

◎生徒が自分で課題を選び、一人一人が選択・決定をする学習へつなげる。(個別最適な課題)

■ 考えられる成果

- ① 学習効率の向上
(証明するために思考した内容をすぐ文章化できる)
- ② 他者参照による証明の手順の定着
(他者から学び、自分の知識として生かせる)



問題① $\triangle ABC \sim \triangle CAH$ が相似であることを証明しよう。

→ 終わった人は問題②へ

証明

$\triangle ABH$ と $\triangle CAH$ が相似であることを証明しよう。

① $\angle AHB = \angle CHA = 90^\circ \dots$

② $90^\circ - \angle BAH = \angle CAH \dots$

③ $90^\circ - \angle ACH = \angle CAH \dots$

②、③より、
 $\angle BAH = \angle ACH \dots$ ④

①、④より、
2組の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABH \sim \triangle CAH$ である。